

# 2007年度 連結決算 ご説明資料

2008年4月25日  
新日鐵化学株式会社  
TEL : 03-5207-7600

## 1. 2007年度決算概況

### (1) 連結損益状況 (億円)

	2006年度	2007年度	差異
売上高	3,187	2,888	×299
営業利益	265	238	×27
<b>経常利益</b>	<b>263</b>	<b>231</b>	<b>×32</b>
特別損益	▲17	▲7	○10
法人税、税効果等	▲110	▲94	○16
少数株主損益	▲23	▲24	×1
当期純利益	113	106	×7

ROS(経常利益/売上高)	8.3%	8.0%	×0.3%
---------------	------	------	-------

	2007.3末	2008.3末	増減
<b>有利子負債</b>	<b>634</b>	<b>341</b>	<b>▽293</b>

当期のわが国経済は、企業収益の拡大を背景に緩やかな景気拡大基調が続きましたが、下期以降、原油・ナフサ価格の高騰、円高の進行により、事業環境は一転して厳しさを増しました。当社におきましては、コールケミカル事業は国内外の旺盛な需要により堅調に推移したものの、化学品事業では原燃料価格の高騰の影響を受け、採算が悪化しました。また、回路基板材料事業は競争激化により、販売数量が伸び悩みました。

上記に加え、君津コークス事業の新日本製鐵への統合(07年7月)の影響もあり、当社の2007年度連結売上高は2,888億円、連結経常利益は231億円の減収減益となりました。また、当期のROSは8.0%、期末の連結有利子負債残高は341億円となりました。

### (2) セグメント別売上高・経常利益 (億円)

		2006年度	2007年度	差異	主要製品
コールケミカル	売上高	約1,140	約750	約×390	高炉用コークス、鋳物用コークス(7/1新日鐵へ分割吸収)、製鉄用ガス ピッチコークス、ピッチ、95%ナフリン、無水フタル酸 カーボンブラック、特殊炭素製品
	経常利益	約140	約130	約×10	
化学品	売上高	約1,550	約1,660	約○110	芳香族、スチレンモノマー、ビスフェノールA、機能性化学品等
	経常利益	約110	約100	約×10	
回路基板材料・機能樹脂	売上高	約480	約470	約×10	2層CCL(エスパネックス)、HDDヘッドシールド材料 LCDカラーフィルター用レジスト、有機EL材料、半導体実装材料 MS、ABS、エポキシ樹脂
	経常利益	約10	～	約×10	
連結計	売上高	3,187	2,888	×299	
	経常利益	263	231	×32	

### (3) 連結キャッシュ・フロー (億円)

	2006年度	2007年度
現金・現金同等物の期首残高	25	21
経常利益	(263)	(231)
税金等調整前当期純利益	246	224
減価償却費	107	94
事業構造改善費用の戻し	6	-
売上債権・仕入債務増減他	△121	△146
営業活動によるキャッシュ・フロー A	238	172
固定資産取得	△64	△54
固定資産・投資有価証券売却他	34	89
投資活動によるキャッシュ・フロー B	△30	35
借入金返済	△208	△193
少数株主への配当	△4	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△212	△202
範囲変更/換算差額	△0	△1
現金・現金同等物の期末残高	21	25
<b>フリーキャッシュフロー A+B</b>	<b>208</b>	<b>207</b>

### (4) 経済指標・製品市況他

	2006年度実績			2007年度実績		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
為替 (円/\$)	115	119	117	119	110	115
原油 (\$/BBL)	68.0	59.3	63.7	67.7	87.2	77.5
ナフサ (\$/BBL)	68.1	62.4	65.3	75.5	89.9	82.7
国産ナフサ (千円/kg)	51.4	48.6	50.0	58.7	64.2	61.5
SM台湾CIF (\$/t)	1,220	1,280	1,250	1,360	1,360	1,360
BPA中国CIF (\$/t)	1,400	1,700	1,550	1,950	1,890	1,920

(億円)

	2006年度	2007年度
設備投資額	46	47
減価償却費	107	94
研究開発費	48	48
金融収支(負担金利)	△7	△5

\* いずれも連結ベース

## (5) 資産／負債状況

(億円)

科目	2008.3末	2007.3末	増減	科目	2008.3末	2007.3末	増減
流動資産	874	957	-83	流動負債	820	1,070	-250
内、現金預金	24	16	8	内、支払手形・買掛金・未払費用	484	610	-126
受取手形・売掛金	480	471	9	短期借入金	250	336	-86
棚卸資産	234	241	-7	固定負債	221	454	-233
繰延税金資産	9	12	-3	内、長期借入金	91	298	-207
その他	127	217	-90	退職給付引当金	104	128	-24
固定資産	947	1,246	-299	繰延税金負債	15	15	0
内、有形固定資産	571	808	-237	負債計	1,041	1,524	-483
無形固定資産	2	0	2	株主資本	685	584	101
投資その他の資産	374	438	-64	内、資本金	50	50	0
(投資有価証券)	(192)	(203)	(-11)	資本準備金	83	83	0
(繰延税金資産)	(126)	(173)	(-47)	利益剰余金	552	451	101
(その他)	(56)	(62)	(-6)	評価・換算差額	33	47	-14
資産合計	1,821	2,203	-382	少数株主持分	62	48	14
				純資産計	780	679	101
				負債純資産合計	1,821	2,203	-382
				有利子負債 合計	341	634	-293
				自己資本	718	631	87
				D/E比率	0.48倍	1.0倍	
				自己資本比率	39.4%	28.6%	

## 2. 2008年度見通し

2008年度については、原燃料価格の更なる高騰、サブプライムローン問題による金融不安、米国景気悪化懸念等、不透明要因が多くなっています。引き続き厳しい事業環境が継続するとの予想に基づき、2008年度の連結経常利益は200億円にとどまる見通しです。

## (1) 連結損益状況

(億円)

## (2) セグメント別売上高・経常利益

(億円)

	2007年度実績	2008年度見通し	中計2008	グランドデザイン2010	2007年度実績		2008年度見通し		
					売上高	経常利益	売上高	経常利益	
売上高	2,888	2,800	2,900		約750	約130	約650	約120	
経常利益	231	200	250	300	約1,660	約100	約1,600	約60	
ROS	8.0%	約7%	9%	10%以上	約470	~	約550	約20	
有利子負債	341	280	400		連結計	2,888	231	2,800	200
自己資本比率	39.4%	40%超	42%	50%					
D/E比率	0.48倍	0.35倍	0.5倍						

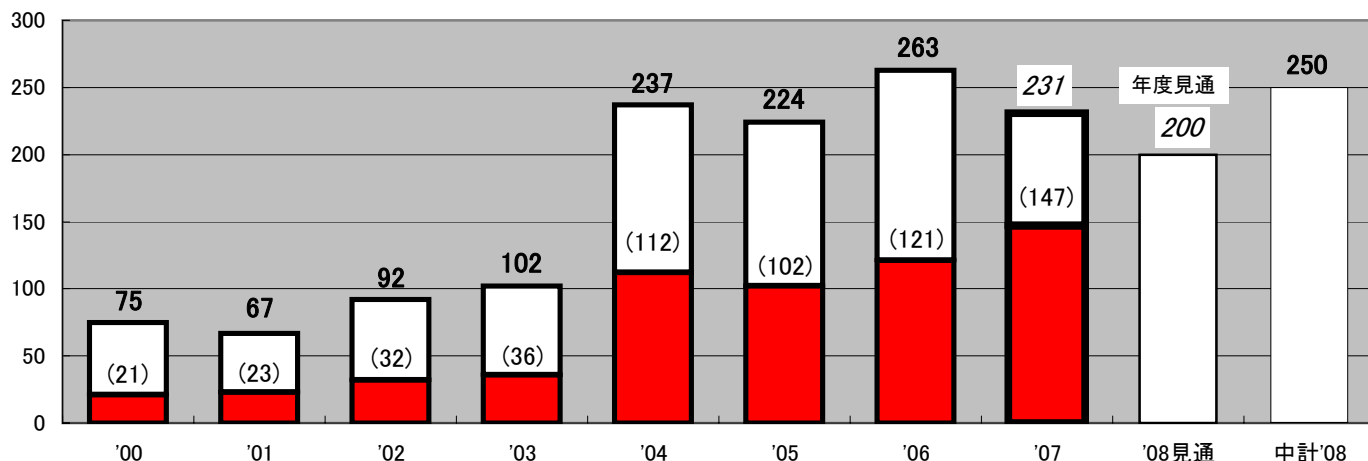
## (3) 経済指標・製品市況他

(億円)

	2007下期実績	2008上期見通		2007実績	2008計画
国産ナフサ (千円/kL)	64.2	64.5	減価償却費	94	100
SM台湾CIF (\$/t)	1,360	1,450	研究開発費	48	50
BPA中国CIF (\$/t)	1,890	1,850	金融収支(負担金利)	△5	△4

## &lt;連結経常利益の推移&gt; □ 年度 (■ 中間)

(億円)



## 2007年度の概況について

### 1. コールケミカル事業

コールケミカル事業については、新興国の経済成長等により、タール製品の需要は堅調に推移しました。とりわけ、石炭系ニードルコークス LPC-US は、人造黒鉛電極の大口径化・高級化の進展により、低熱膨張等の優れた特性を評価頂き、販売量が順調に増加しております。こうした中、コールタール蒸留（年 80 万 t→90 万 t、2008 年夏完工予定）、ピッチコークス（年 10 万 t→12 万 t、09 年秋完工予定）、ピッチ（年 6 万 t→8 万 t、08 年夏完工予定）、及び特炭製品（新日本テクノカーボン、年 6 千 t→8 千 t、08 年末完工予定）の生産能力増強工事を進めており、お客様のニーズに的確に応えていく所存です。

足元、原料炭・原油価格が高騰していることから、製品価格の改善が課題となっております。

### 2. 化学品事業

原油・ナフサ価格の高騰が続く中で、芳香族製品はアジア地区での供給増加もあり、ナフサとのスプレッドが縮小しました。一方、SM は中国内需が堅調に推移したことから、アジア地域での需給は引き続きタイトに推移しました。本年 3 月には、日本スチレンモノマー(株)からの東ソー(株)殿の撤退に伴い、当社は、そのポジションを取得しました（生産能力：年 34 万 t→42 万 t）。BPA は、ポリカーボネート樹脂・エポキシ樹脂向けの需要がアジア地域を中心に増加したことにより、製品市況は堅調に推移しましたが、フェノール需給がタイト化し、収益の圧迫要因となりました。高機能性素材ジビニルベンゼンについては、イオン交換樹脂向けの旺盛な需要に対応するため、生産能力増強（現行年 3 千 t を最大 1.5 倍まで引上げる技術を確立、段階的に能力増強を進める計画）を決定しました。

### 3. 回路基板材料・機能樹脂事業

エスパネックスは、競争の激化と年末以降の携帯電話の在庫調整の影響を受け、販売量は前年度比 5%強の増加にとどまりました。4 月 1 日付で、製造・販売・研究が一体となった事業体制に組織を再編し、需要動向の変化に迅速・的確に対応してまいります。

液晶カラーフィルター用レジストインクのうちブラックマトリックスについては、液晶 TV の需要拡大とともに、販売量が順調に増加しております。有機 EL 材料は青色燐光材料の開発により、オール燐光材料による有機 EL デバイスの早期実現を目指すとともに、有機 EL 照明分野での材料開発を進めております。

有機-無機共重合体「シルプラス」については、商業生産体制構築のため、フィルム工場の新設（年 60 万 m<sup>2</sup>、09 年 4 月稼働開始予定）に着手しました。高耐熱・高透明・高表面硬度といった特徴を兼ね備えており、耐衝撃性を高めたフィルムグレードが LCD 前面板として採用されております。

エポキシ樹脂はハロゲンフリーのリン系難燃エポキシ樹脂の販売が好調であり、生産能力を増強（年 5 千 t→7 千 t、08 年 4 月完工）しました。



## 07年度 連結決算概要

## 1. 損益状況

(単位: 億円)

	04年度 (H16)	05年度 (H17)	06年度 (H18)	07年度 (H19)	08年度見通 (H20)
売上高	2,706	2,985	3,187	2,888	2,800
営業利益	260	221	265	238	200
経常利益	237	224	263	231	200
当期純利益	208	131	113	106	N.A
ROS(売上高経常利益率)	8.8%	7.5%	8.3%	8.0%	7.1%

## 2. セグメント別売上高

	04年度 (H16)	05年度 (H17)	06年度 (H18)	07年度 (H19)	08年度見通 (H20)
コーンケミカル			1,140	750	650
化学品			1,550	1,660	1,600
回路基板材料・機能樹脂			480	470	550
合計			3,187	2,888	2,800

## 3. 貸借対照表

	04年度 (H16)	05年度 (H17)	06年度 (H18)	07年度 (H19)
流動資産	820	775	957	874
有形固定資産	978	918	808	571
無形固定資産	1	1	0	2
投資等	518	493	438	374
資産計	2,317	2,187	2,203	1,821
有利子負債	1,091	850	634	341
その他負債	855	800	890	700
少数株主持分	16	29	48	62
自己資本	355	508	631	718
負債純資産計	2,317	2,187	2,203	1,821
自己資本比率	15.3%	23.2%	28.6%	39.4%

## 4. キャッシュ・フロー

	04年度 (H16)	05年度 (H17)	06年度 (H18)	07年度 (H19)
営業キャッシュ・フロー	397	247	238	172
投資キャッシュ・フロー	△54	△50	△30	35
(フリーキャッシュ・フロー)	343	197	208	207
財務キャッシュ・フロー	△351	△210	△212	△202
その他		1		△1
現預金等増減	△8	△12	△4	4

## 5. 主要指標

		04年度 (H16)	05年度 (H17)	06年度 (H18)	07年度 (H19)	08年度見通 (H20)
設備投資額	億円	115	80	46	47	75
減価償却費	億円	96	93	107	94	100
研究開発費	億円	33	39	48	48	50
金融収支(負担金利)	億円	△12	△7	△7	△5	△4
期末有利子負債残高 ( " 対前期増減)	億円	1,093 (△331)	850 (△243)	634 (△216)	341 (△293)	280 (△61)
為替レート	円/US\$	107.5	113.0	117.0	115.0	上期 100.0
国産ナフサ価格	千円/KL	32.2	42.4	50.0	61.5	上期 64.5

注) 設備投資額は、有形・無形固定資産増減(建設仮勘定編入)ベース。  
研究開発費は、費用算入ベース。

## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期 (08. 3. 31現在)	前 期 (07. 3. 31現在)	増 減	科 目	当 期 (08. 3. 31現在)	前 期 (07. 3. 31現在)	増 減
(資産の部)				(負債の部)			
流 動 資 産	87,422	95,700	△8,277	流 動 負 債	82,059	107,046	△24,987
現金及び預金	2,428	1,577	851	支払手形及び買掛金	40,721	49,122	△8,401
受取手形及び売掛金	48,016	47,123	892	短期借入金	25,017	33,649	△8,632
たな卸資産	23,454	24,075	△620	未払費用	7,696	11,916	△4,220
その他	13,532	22,979	△9,447	その他	8,624	12,357	△3,732
貸倒引当金	(-) 9	(-) 55	46				
固 定 資 産	94,720	124,687	△29,967	固 定 負 債	22,067	45,338	△23,270
有形固定資産	57,143	80,808	△23,664	長期借入金	9,118	29,792	△20,673
建物及び構築物	18,435	22,306	△3,871	再評価に係る繰延税金負債	1,532	1,532	—
機械装置及び運搬具	19,911	39,228	△19,316	退職給付引当金	10,434	12,794	△2,360
土地	16,659	17,433	△774	その他	983	1,219	△236
その他	2,137	1,839	297	負債合計	104,127	152,385	△48,257
無形固定資産	231	30	201	(純資産の部)			
投資その他の資産	37,345	43,848	△6,503	資 本 金	5,000	5,000	—
投資有価証券	19,228	20,294	△1,066	資本剰余金	8,284	8,284	—
繰延税金資産	12,625	17,364	△4,739	利益剰余金	55,242	45,198	10,043
その他	6,304	7,055	△751	株主資本合計	68,527	58,483	10,044
貸倒引当金	(-) 814	(-) 865	51	その他有価証券評価差額金	1,381	2,888	△1,507
				繰延ヘッジ損益	0	—	0
				土地再評価差額金	2,297	1,757	539
				為替換算調整勘定	△394	△1	△392
				評価・換算差額等合計	3,284	4,644	△1,360
				少数株主持分	6,205	4,875	1,329
				純 資 産 合 計	78,016	68,003	10,012
資 産 合 計	182,143	220,388	△38,244	負債純資産合計	182,143	220,388	△38,244

(自己資本)

(71,811)

(63,127)

(8,684)

## 連結損益計算書及び連結剰余金計算書

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期 (07. 4. 1~08. 3. 31)		前 期 (06. 4. 1~07. 3. 31)		増 減
	金 額	%	金 額	%	金 額
売 上 高	288,888	100.0	318,776	100.0	△29,888
売 上 原 価	244,077		270,393		△26,316
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	20,960		21,826		△866
営 業 費 用	265,038		292,219		△27,182
営 業 利 益	23,849	8.3	26,556	8.3	△2,706
受 取 利 息	61		59		1
受 取 配 当 金	287		151		136
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	1,360		1,063		296
そ の 他	1,002		756		245
営 業 外 収 益	2,711		2,031		679
支 払 利 息	524		713		△189
為 替 差 損	1,968		26		1,941
そ の 他	955		1,508		△552
営 業 外 費 用	3,448		2,248		1,200
営 業 外 損 益	△737		△217		△520
経 常 利 益	23,111	8.0	26,338	8.3	△3,226
固 定 資 産 売 却 益	142		217		△75
投 資 有 価 証 券 等 売 却 益	—		96		△96
特 別 利 益	142		313		△171
固 定 資 産 減 損 損 失	—		1,315		△1,315
固 定 資 産 売 却 損 等	796		—		796
投 資 有 価 証 券 売 却 損 失	—		37		△37
投 資 有 価 証 券 等 評 価 損 失	43		81		△38
事 業 構 造 改 善 費 用	—		581		△581
特 別 損 失	840		2,016		△1,176
特 別 損 益	△698		△1,702		1,004
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	22,413	7.8	24,635	7.7	△2,221
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	4,909		5,052		△143
法 人 税 等 調 整 額	4,531		5,988		△1,456
少 数 株 主 利 益	△2,389		△2,338		△51
当 期 純 利 益	10,583	3.7	11,256	3.5	△672

## 連結剰余金計算書

	当 期 (07. 4. 1~08. 3. 31)	前 期 (06. 4. 1~07. 3. 31)	増 減
	金 額	金 額	金 額
(資本剰余金の部)			
資 本 剰 余 金 期 首 残 高	8,284	8,284	—
資 本 剰 余 金 期 末 残 高	8,284	8,284	—
(利益剰余金の部)			
利 益 剰 余 金 期 首 残 高	45,198	33,942	11,256
当 期 純 利 益	10,583	11,256	△672
利 益 剰 余 金 増 加 高	10,583	11,256	△672
土 地 再 評 価 差 額 金 取 崩 に よ る 減 少 高	△539	—	△539
利 益 剰 余 金 減 少 高	△539	—	△539
利 益 剰 余 金 期 末 残 高	55,242	45,198	10,043

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当期 (07. 4. 1～08. 3. 31)	前 期 (06. 4. 1～07. 3. 31)
	金 額	金 額
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 税金等調整前当期純利益	22,413	24,635
2. 減価償却費	9,406	10,682
3. 受取利息及び受取配当金	△ 348	△ 210
4. 支払利息	524	713
5. 持分法による投資利益	△ 1,360	△ 1,063
6. 事業構造転換損失	—	581
7. 固定資産減損損失	—	1,315
8. 固定資産売却損失等	654	—
9. 売上債権、仕入債務の増減額	△ 6,812	578
10. たな卸資産の増減額	△ 1,225	△ 4,074
11. その他	△ 5	△ 5,295
小 計	23,247	27,862
12. 利息及び配当金の受取額	694	499
13. 利息の支払額	△ 571	△ 657
14. 法人税等の支払額	△ 6,165	△ 3,878
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,205	23,826
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 有形固定資産等の取得による支出	△ 5,439	△ 6,432
2. 有形固定資産等の売却による収入	910	3,156
3. コークス事業譲渡による収入	8,152	—
4. 投資有価証券等の売却による収入	8	602
5. その他の資産増減額	△ 140	△ 336
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,491	△ 3,008
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 借入金の借入、返済による収支	△ 19,324	△ 20,811
2. 少数株主への配当金の支払額	△ 915	△ 406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,239	△ 21,218
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 105	16
V. 現金及び現金同等物の増加額	351	△ 383
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	2,128	2,511
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	2,480	2,128